

次期の見通し(2017年3月期)

売上収益

2,590億円 前期比 **61.6%増**

長期収載品は、薬価改定や後発医薬品使用促進策の影響により売上減少が予想されるものの、抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」の売上の大幅拡大に加え、2型糖尿病治療剤の「フォシーガ錠」、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」などの主要新製品の売上拡大を見込んでおり、次期の売上収益は前期比987億円(61.6%)増の2,590億円を予想しています。

税引前当期利益

750億円 前期比 **125.4%増**

長引く低金利などの影響から、金融収支は前期比3億円減少するものの25億円を見込んでおり、次期の税引前当期利益は前期比417億円(125.4%)増の750億円を予想しています。

営業利益

725億円 前期比 **137.6%増**

「オブジーボ点滴静注」の売上増に伴い、売上原価が増加する見込みです。また、オブジーボ関連の研究開発費用の増加や、営業活動費用、市販後調査費用などの販売費及び一般管理費も増加するものの、売上収益の大幅増を見込んでおり、次期の営業利益は前期比420億円(137.6%)増の725億円を予想しています。

親会社の所有者に帰属する当期利益

558億円 前期比 **123.4%増**

税引前当期利益の増加に伴い、法人税等の税金費用の増加が見込まれることから、次期の親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比308億円(123.4%)増の558億円を予想しています。